



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



# ジェンダー平等を 実現することは なぜ大切か

## 目標の内容は何ですか。

ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図ることです。

## なぜ、この目標が設定されたのですか。

世界人口の半数を占める女性と女児は、世界の可能性の半分であると言えます。しかし、今のところジェンダーの不平等は世界のいたるところで見られ、社会の前進を阻んでいます。

2014年時点で143カ国が、男女平等を憲法で保障していますが、

52カ国ではまだこの規定が見られません。

## ジェンダー平等が確保されなければ、どうなりますか。

女児が出生時から直面する不平等は、一生付きまといます。医療や適切な栄養が得られないことによって、女児の死亡率が高くなっている国もあります。

女児が思春期に達すると、ジェンダー格差は拡大します。児童婚は男児よりも女児に圧倒的に多く見られます。全世界で毎年、ほぼ1,500万人の女児が18歳未満で結婚していますが、この数は1日当たり3万7,000人に相当します。

世界の働く  
女性の賃金  
(平均)、男性を  
24%下回って  
いる状態です。

早婚は女児の教育にも影響します。開発途上国の約3分の1は、初等教育で男女平等を達成できていません。サハラ以南アフリカ、オセアニア、西アジアでは、女児の小中高校入学への障壁が依然として残っています。

### ジェンダーの不平等は、女性にどのような影響を及ぼしているのですか。

教育で不利な立場に置かれれば、技能を身に着けることもできず、就業の機会も限られてしまいます。

女性と女児のエンパワーメントは、経済成長の拡大と社会開発の促進に欠かせません。女性が労働に全面的に参加すれば、ほとんどの国で成長率は数パーセント上昇するでしょう。この上昇幅が2ケタになる場合も多くあります。

### 他にジェンダー関連の課題はありますか。

はい。全世界で35%の女性が、親密なパートナーによる身体的暴力や性的暴力、または、パートナー以外の者による性的暴力を受けています。

女性器切除術が最も広く蔓延しているアフリカと中東の29カ国では、1億3,300万人の女児と女性が何らかの形で、この有害な慣行を経験しており、長引く出血や感染(HIVを含む)、出産時合併症、不妊、さらには死亡のリスクが高くなっています。

### しかし、ジェンダー平等は私にとってなぜ大切になるのでしょうか。

あなたがどこで暮らしていようと、ジェンダー平等は基本的人権のひとつです。ジェンダー平等の推進は、貧困の削減から、すべての子どもの健康、教育、保護、福祉の増進に至るまで、健全な社会のあらゆる側面に欠かせません。

女児向けの教育プログラムに投資し、結婚年齢を引き上げれば、投資1ドル当たり5ドルが戻ってきます。女性向け所得創出活動を改善するプログラムに投資すれば、1ドル当たり7ドルの益が戻ってきます。

### こうした問題を解決するため、私たちには何ができるのですか。

あなたが女子生徒なら、自分自身が学校に留まるだけでなく、クラスメートの女子生徒も学校に留まれるよう力を貸すとともに、性と生殖に関する医療サービスを利用する権利を求めることができます。

あなたが女性なら、機会均等に対する意図せぬ、しばしば見えないう障壁を作りかねない無意識の偏見や暗黙の固定観念に取り組むことができます。

あなたが男性または男児であれば、女性や女児と連携し、ジェンダー平等の達成と、健全で相互

を尊重する関係の確立を図ることができます。

また、女性器切除術のような文化的慣行に歯止めをかけたり、女性と女児の権利を制限し、その潜在能力を十分に発揮できなくしている有害な法律を改正したりするための教育キャンペーンに資金を提供することもできます。

目標5をはじめ、持続可能な開発目標(SDGs)についてさらに詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

日本語訳：国連広報センター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD